



# 松本市図書館だより

平成26年 7月1日発行 第16号

編集・発行 松本市図書館  
〒390-0861  
松本市蟻ヶ崎 2-4-40  
電話/0263(32)0099

のぞいてみよう!

## ～図書館の裏側～



今回の特集記事では、普段お見せする機会のない図書館の裏側の様子をご紹介します。

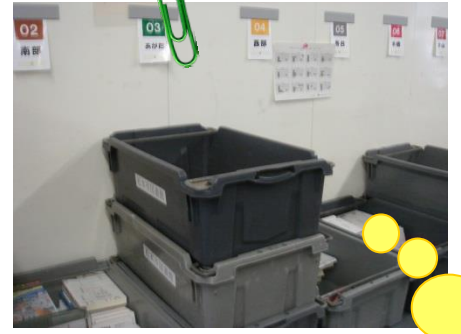
### 《書庫》



新聞の  
バックナンバー



### 《分館メール便》



貴重書

中央図書館の1階と2階の間には「書庫」と呼ばれるスペースがあります。電動可動式の本棚には約32万冊の本が並べられています。他にも貴重書や、明治6年からの信濃毎日新聞なども保存してあります。(マイクロフィルムでの閲覧となります)

市内の図書館間では、資料をこのような箱に入れてやりとりしています。本のお取り寄せや、どこの図書館でも返却ができるのは、このメール便があるからなのです。

### 《ブックポスト》



中には、クッションで囲まれた箱が置いてあります。ポストに返された本は勢い良く滑り落ちていきます。休館日にはいっぱいになることも・・・。



### 『～図書館からのお願い～』

- ・ブックポストは、勢い良く滑り落ちたり、硬い体の下敷きになったりしますので、CD・DVD・紙芝居・カセットなど壊れやすいものは必ずカウンターまでご返却ください。
- ・本やCDは市民の皆さまの大切な財産です、図書館の資料は大切にご利用ください。

## 各館紹介

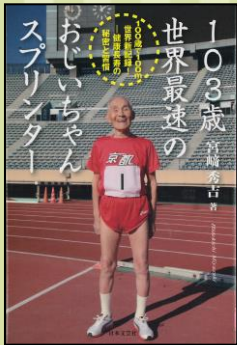
### ～西部図書館～

西部図書館は、昭和59年図書館分館を願う母親たちの署名運動で実現した西部公民館図書室から、6年後の平成2年に分館として開館しました。所蔵は、一般20,000冊、児童15,000冊です。鎌田交差点から大きな体育館を目印に西へ向うと、西部体育館と同じ敷地内に西部公民館、鎌田児童センター、鎌田地区福祉ひろばがあり、風見鶏がある建物が図書館です。



西部公民館には陶芸用の窯があるので、陶芸に関する本を多く揃えています。児童コーナーはじゅうたん敷きで、小さな子ども連れでもゆっくり時間を過ごすことができます。また奥には、たたみの閲覧コーナーがあり、新聞を広げたり、じっくり本を読むこともできます。毎週、鎌田児童センターと一緒におはなし会を催して、地域に根付いた図書館を目指しています。午前中は小さな子ども連れの親子が、夕方には子どもたちが利用する姿が見られます。散歩がてらに、お気軽にお立ち寄りください。

# 今月のおすすめ本



## 『103歳 世界最速のおじいちゃんスプリンター』

宮崎 秀吉／著 日本文芸社【498.3ミ 所蔵館：島内】

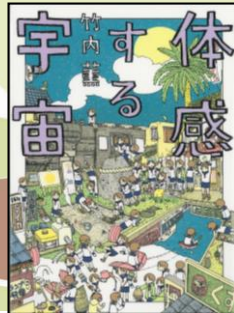
長寿の国として知られる日本、そのなかでも長野県は常に上位にランクインしています。しかしながら近年は「健康寿命」（自立した生活ができる寿命）が注目されています。こちらの本の著者は、なんと100歳で100mを29秒83で走るスーパーおじいちゃんなのです。そんな著者の日常生活、簡単な体操、1週間の献立など、健康長寿の秘密と習慣が紹介されています。また健康寿命を伸ばすことは、松本市が掲げる将来像でもあります。

## 『体感する宇宙』

竹内 薫／著 KADOKAWA 【440タ 所蔵館：中央、あがた、島内、空港】

相対論、ヒッグス粒子、ニュートリノ・・・解説書は数あれど、イマイチよくわからない、ということはないでしょうか。こちらの本では、宇宙で起こる様々な現象、物質、法則などは、私たちの生活で身近に体感できると解説してあります。

「もしも家の電気のブレーカーが落ちたら？」それが「宇宙旅行だ!!」。一見すると意味がわかりませんが、そこには納得のいく意味が隠されています。文系の方にも是非読んでいただきたい1冊です。



# 予約本ベスト5

平成26年5月15日～

平成26年6月15日受付

## 一般書

- 1位 『虚ろな十字架』  
東野 圭吾／著、光文社
- 2位 『女のいない男たち』  
村上 春樹／著、文藝春秋社
- 3位 『ケモノの城』  
誉田 哲也／著、双葉社
- 4位 『豆の上で眠る』  
湊 かなえ／著、新潮社
- 5位 『村上海賊の娘』上巻  
和田 竜／著、新潮社

## 児童書

- 1位 『かあちゃん取扱説明書』  
いとう みく／作、童心社
- 2位 『かえってきた』  
まほうのじどうはんばいき』  
やまだ もとこ／作、金の星社
- 3位 『かいけつゾロリ』  
まほうのランプ〜』  
原 ゆたか／さく・え、ポプラ社  
『カエルのおでかけ』  
高島 那生／作、フレーベル館
- 5位 『トッキュウジャーかいぞく』  
のぶみ／作、金の星社

# 図書館に聞いてみよう!

【今月の事例】



松本城が歌詞にある校歌を探したい

Q. 「松本城をうたった校歌は小・中学校でいくつあるか知りたい。また、その校歌の歌詞を見られるような資料はあるか。」

A. ア. 『松本ってどんなまちQ&A』

(日本民俗資料館：1991)

イ. 『学校のたから百景』(松本市立博物館：2010)

ウ. 『松本教育40号』(松本市教育会：2006)

郷土に関する事柄でしたので、郷土資料の学校教育関係と、松本や松本城について知るためのガイド資料から調査しました。

アには、何らかのかたちで校歌の中に松本城を表現している学校は、小学校が5校(旭町小・田川小・清水小・岡田小・信大付属小)中学校3校(清水中・丸ノ内中・旭町中)との記述がありました。イには、アの他に松本盲学校を含めて9校ということや、歌詞の一節、かつてうたわれた校歌なども記述がありました。

しかし、アとイでは校歌の歌詞全部を確認することはできませんでしたので、郷土資料の学校教育関係の本を調べたところ、ウで校歌の歌詞を確認することができました。この他にも、校歌の歌詞は、それぞれの学校の学校要覧やホームページでも確認することができます。

図書館には、調べ物のお手伝いをするサービスがあります。本についての問い合わせ以外にも、身近な疑問についてもお調べしますので、お気軽にご利用ください。

## 編集後記

今回の特集はいかがでしたか？これからも本の取り扱いに気をつけていただければ幸いです。以前ご案内した本の特別整理は残すところ中山文庫だけとなりました。6/30(月)から7/5(土)までになります。迷惑をおかけしておりますが、引き続きご理解・ご協力をお願い致します。なお、7月はFMまつもとへのラジオ出演はございません。ご了承ください。

